

はくぶつかんネット

第76号令和5年3月～7月号
発行：宜野湾市立博物館**慰霊の日写真パネル展****企画展、無事終了いたしました！**

沖縄戦の中の宜野湾



令和5年、早くも半年が経ち、皆さかもコロナウイルス感染拡大以前の日常生活を取り戻しつつあるのではないのでしょうか？宜野湾市立博物館でも、引き続き感染対策を行いながら、さまざまな企画展示や市民講座を進めております。

そのような中、慰霊の日写真パネル展「沖縄戦の中の宜野湾」を開催

しました。本パネル展は、戦争の記憶を次世代へ継承することを目的に、毎年慰霊の日の時期に合わせて開催しています。今年度は、沖縄県の学童集団疎開について取り上げ、子供たちの疎開先での苦しい生活も紹介しました。また、6月11日（日）には、沖縄「平和の礎」名前を読み上げる集いに参加し、5,400名余のうち、1,500名の戦没者名を、18名の方が読み上げました。さらに、博物館ロビーでは「第32号司令部壕」の立体模型や解説パネルを展示しました。6月17日（土）から7月9日（日）までの開催期間（20日）で、市内外から1,348名のご来場がありました。たくさんみなさまにご来館いただきまして、ありがとうございました！！



嘉数国民学校の学童と職員

**第32軍司令部壕の模型展示****展示の様子****慰霊の日写真パネル展**首里城地下
第32軍司令部壕の保存・公開を求める

1944（昭和19）年7月19日、沖縄県は各国民学校に学童疎開の指示を出しました。同年10月末に文部省へ報告された沖縄県の疎开学童数は合計6,111人で、宮崎・熊本・大分の3県へ学校ごとに疎開しました。その年の8月28日、宜野湾の疎开学童は軍需貨物船「伏見丸」に乗船し那覇港を出発、9月1日に鹿児島を経由して宮崎に到着しました。



耳川で遊ぶ嘉数国民学校の学童

宜野湾の学童疎開

福瀬国民学校の校庭にある野菜園



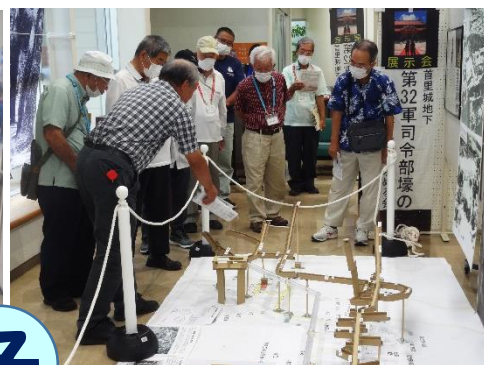
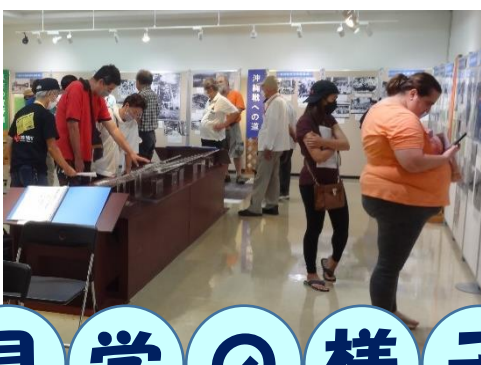
普天間と宜野湾の両国民学校、合わせて52人に教諭2人他が引率し、宮崎県東臼杵郡東郷村（現宮崎県日向市）坪谷国民学校へ、嘉数国民学校は学童32人に教諭1人他が引率し、同村の福瀬国民学校へそれぞれ疎開しました。嘉数国民学校の前には耳川が流れていて、夏はそこで泳ぐのが学童たちの楽しみでした。食糧事情が非常に悪く、学童たちは学校の校庭で自ら野菜を栽培し、不足分を補っていました。そして、約2年後の1946（昭和21）年10月に沖縄へ戻り、長く苦しい疎開生活を終えました。



福瀬国民学校の校庭から耳川を見る

皆さまからのご感想～アンケートより～

- ・沖縄本島内の状況だけでなく、子ども達の疎開先での状況など知らなかったことがたくさんありました。
- ・教科書には書いていないような事実が知れて、勉強になりました。
- ・昔の宜野湾、今の宜野湾、戦争と基地によって大きく生活が変化せざるを得なかったことがわかった。
- ・戦前の様子から今に繋がる実態がよく分かり、奪われてきた事実が良く理解できました。
- ・写真もよかったです、人口や戦没者数などのデータも知る事ができてよかったです。
- ・実際に亡くなった方の写真も展示されていて衝撃を受けた。戦争の悲惨さを表現するのに必要な展示だ。



見学の様子



春の企画展



新収蔵品展

ご来場
ありがとうございました！

～令和3・4年度 受入資料～

博物館の活動を紹介し、皆さまからの寄贈資料をお披露目する新収蔵品展を、4月22日（土）から6月4日（日）まで開催しました。今回は、令和4年度に改正した博物館法と市立博物館が行っている活動の紹介や、令和3・4年度に寄贈していただいたおよそ500点の資料の中から、寄贈者のエピソードや資料にまつわる歴史などを紹介していくことで、「皆さまと作る博物館」をテーマに展示を行いました。

期間中、高校・大学の講義やキャンプ・フォスターの方々など、幅広い年齢層、847名に展示を見ていただきました。また、「懐かしい生活用具を見て子供の頃の生活を思い出しました。」「いろんな昔の物がたくさん置かれていて、『どんな使い方をするんだろう』とか『へえ～！そんなことがあったんだ』と色んな気づきを得ることが出来ました。」などの感想をいただきました。展示を見学していただき、ありがとうございました。

最後に令和3・4年度に、資料を寄贈していただきました19の個人・施設の皆さま、誠にありがとうございます。今後も皆さまの寄贈や博物館事業へのご参加をお待ちしております。



今回も幅広い寄贈品が
あったじゃ！



展示見学の様子



令和4年度で、博物館の
収蔵資料は1万点を
超えたんだ！！

寄贈について

当館での寄贈は、多くの場合がご連絡をいただくことがきっかけです。資料の受入れにつきましては、以下の3点を基準として、行っております。

- ①宜野湾市で暮らした人々が使っていた
- ②当館に所蔵されていない、もしくは数が少ない
- ③当館が所蔵している資料より状態が良い（壊れていない）

皆さまの思い出の品や、古い道具がありましたら、まずは当館までぜひご一報ください。

比嘉美津子 絵画展 ～羽衣に誘われて（2）～

終了
しました！

画家として、県内外で活躍する比嘉美津子氏の 22 年ぶりの絵画展を 2023（令和 5）年 3 月 25 日（土）から 4 月 9 日（日）の期間で開催しました。今回の絵画展では比嘉氏のご協力のもと、羽衣伝説の天女をはじめ、沖縄の女性像や風景、世界的な物語のシーンなど 46 点もの作品を展示することができました。また、期間中には比嘉氏によるギャラリートークを、参加者からの質疑に答える形で行いました。そして最終的には、市外や県外からも多くの方々が鑑賞に訪れ、509 名ものご来館がありました。絵画展へお越しいただき、ありがとうございました！

また、今回展示した作品のうち、「スーホーの白い馬」と題する 100 号サイズの絵画を比嘉氏のご厚意で、昨年度に校舎を改築した普天間小学校に寄贈していただきました！新しくなった校舎に比嘉氏の絵画が飾られることで、それを見た児童が全国や世界に羽ばたくような目標を持ってくれることを願います☆



見学のように



普天間小学校に寄贈された「スーホーの白い馬」

＼はじまるよ～♪／

夏の企画展

シン・紙ってるね！一枚折りの動物たち
～あの動物たちが帰ってきた！！～



平成 29 年度に行われた「紙ってるね！沖縄の動物たち」が、新しくなって帰ってきました♪写真や図鑑などでは見る事のできない「紙」だからこそ見えてくる、動物たちの多様性や不思議さ、一枚の「紙」から作り出す「神」技を、ぜひ、ご覧ください♪

入場無料



期 間◆7月22日（土）～
9月24日（日）
9:00～17:00（入館は 16:30 まで）
休館日◆毎週火曜日・祝日

館長あいさつ

ハイサイ！ぐすーよー、ちゅーうがなびら！

博物館長の平敷兼哉やいびーん。ゆたしく、うにげーさびら。

令和5年度の博物館事業、市史編集事業が始まり、3ヵ月余りが経ちました。

今年度は、この2ヵ年、新型コロナの感染拡大防止から博物館事業も一部、制限しながら進めてきましたが、できるだけコロナ以前の活動に戻していきたいと思います。

博物館事業では、7本の企画展、15回の市民講座やわらば～体験じゅく、こども博物館教室などを行います。また、市史の編さんでは『ぎのわん教育のあゆみ（仮）』を刊行します。特に市民講座では、これまでの受講者数の制限を緩和したいと思いますので、多くの受講者をお待ちしております。また、昨年5月から始めた博物館2階の研究室の貸出しも、市民の皆さまのサークル活動の場としてご利用いただいております。こちらも合わせてご利用いただきたいと思います。

当館では、コロナ対策に気をつけながら、楽しみ、遊びながら学べる場をご提供し、活気ある博物館をめざしていきたいと思います。スタッフ一同、皆さまのご来館を心よりお待ちしております。令和5年度も宜野湾市立博物館をよろしくお願い致します。

宜野湾市立博物館 館長 平敷 兼哉

新職員紹介

栗野 慎一郎（市史編集担当）

4月から当博物館でお世話になっております、栗野慎一郎と申します。いま、「宜野湾市史」別冊『ぎのわん教育のあゆみ』（仮題）の編集作業に取り組んでいます。今年3月までは、浦添市の図書館で郷土資料のレファレンスを担当していました。いろいろ知らない点もあるかと思いますが、皆さん、よろしくお願いいたします。



齊藤 郁子（市史編集担当）

今年の4月から宜野湾市史編集のうち、歴史公文書に関する事業等の担当として勤務することになりました、齊藤郁子と申します。3月までは沖縄県公文書館にいました。

博物館で働くのは初めてのことで、先輩たちにお教えていただきながら、業務に慣れるよう努めている最中です。また、宜野湾市は博物館が公文書館的機能をも担っていますので、市の記録管理とその活用等を学ばせていただけたらと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

島袋 芽依（学芸担当）

初めまして、今年の3月に大学を卒業し、5月から学芸担当として勤務している島袋芽依です。学生時代には考古学ゼミで沖縄の考古学を中心に学んでいました。

慣れない作業と初めてのことに当初目を回していましたが、少しずつ業務に慣れてきました。頼もしい先輩方の手助けを借りながら、宜野湾市立博物館の一員として立派に、学芸員実習での経験もバネにして成長し、一人前になってゆきたいと思っています。これから、どうぞよろしくお願いいたします。

今年度の博物館スタッフです。よろしくお願いします！



平敷 兼哉（博物館館長）

田崎 綾乃（主任主事）

栗野 慎一郎（市史編集担当）

田中 樹（学芸担当）

島袋 芽依（学芸担当）

長濱 健起（学芸係長）

儀間 智美（学芸員）

齊藤 郁子（市史編集担当）

梅村 素子（学芸担当）

陣野原 知行（学芸担当）



博物館では、いま「宜野湾市史」別冊『ぎのわん教育のあゆみ（仮）』の編集作業に取り組んでいます。来年3月の刊行をめざしていますが、史料の収集と整理にも取り組んでいます。今回ご紹介するのは、そんな戦後の学校教育に関する史料の一部です。

復帰以前の、日の丸掲揚に関する資料

「一九五六年元日の日本国旗掲揚について」という、1955（昭和30）年12月の史料があります。当時の琉球政府が米国民政府に「一九五六年の元日に各学校、各家庭への日本国旗の掲揚の許可」について申請したところ、条件つきで許可されたという内容になっています。

その条件とは、「公的或は政治的性質を持つ集会及び行列の場合は掲揚してならない。また、いかなる場合も政治的含みを持たせてはならない」というものでした。史料の末尾には「琉球政府又は市町村公共団体では校舎を含めて日本の国旗を掲揚してはならない」とも書かれていて、学校での日本国旗掲揚を事実上、禁止する通達であるとも読めるものです。

宜総第842号
一九五五年十二月三十日
宜野湾村長 知念清一
各區々長 殿
一九五六年元日の日本国旗掲揚について
其の筋より一九五六年元日の日本国旗掲揚についてたの通り（寫）
通達がありますので区民の同意を取り付けたいとすよう
通知申し上げます

官総第94四号
一九五五年十二月二十日
行政主事官 房長
宜野湾村長 殿
一九五六年元日の日本国旗掲揚について
一九五六年の元日に各学校、各家庭への日本国旗の掲揚の許可方を
民政官申請とす。左記のとおり回答がありまふからお知らせします

記
一九五六年一月一日の元日は、琉球内にて日本の国旗を掲揚することを許可する。
但し公的或は政治的性質を持つ集会及び行列の場合は掲揚してならない。
また、いかなる場合も政治的含みを持たせてはならない。
琉球政府各市町村公共団体では校舎を含めて日本の国旗を掲揚してはならない。

1952（昭和27）年4月28日にサンフランシスコ講和条約が発効した後、琉球列島は米国の施政権下に置かれることになりました。米国民政府は同日に、個人の家屋や個人的な集会での日の丸使用を認めながら、政府庁舎内など公的な場所での米国旗以外の国旗や軍旗の掲揚を禁じる布令を出しています。

沖縄教職員会はその9日後に「国旗掲揚についての請願書」を作成し、お正月や入学式などに学校で日の丸を掲揚することを求める運動を開始しています。祝祭日やお正月3日間に学校や庁舎で日の丸掲揚が正式に認められたのは、それから10年たった1962（昭和37）年のお正月からでした。

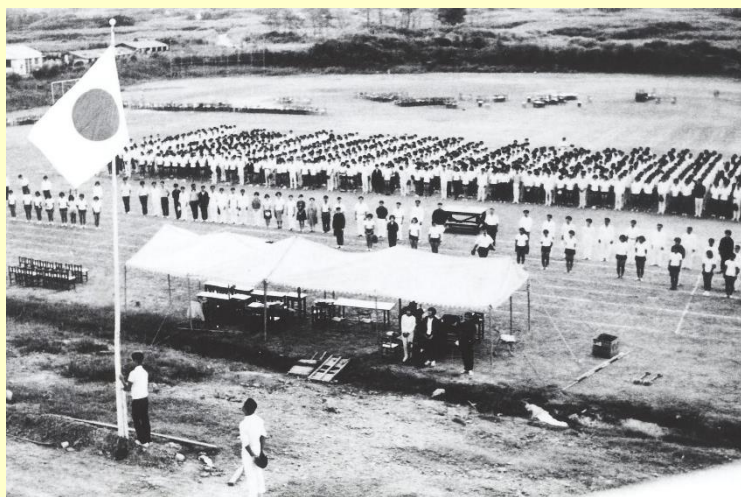


「伊佐浜に掲げられた土地収^{のぼり}取反対の幟」
（『伊佐浜の土地闘争（資料編）』より）

1955（昭和30）年といえば、伊佐浜や伊江島での米軍による軍用地収^{のぼり}取が大問題となっていた時期です。「銃剣とブルドーザー」という言葉で形容されることが多い、米軍による強権的な土地の収^{のぼり}取（強制収容）が、結果として人びとの「日本復帰」への思いを加速させていたのかもしれません。



この頃、日の丸は抵抗のシンボルだったんじゃない。時代が変われば、意味合いも変わるモノじゃな…。



運動場に掲揚された日の丸 校内陸上競技大会 1967（昭和42）年
（『写真集ぎのわん』より）

このように、宜野湾市には戦後初期の貴重な史料が残されています。今度の『ぎのわん教育のあゆみ（仮）』では、いろいろな昔の学校にまつわる歴史に出会えるかも！みんなで勉強してみよう！！



令和5年度 年間行事カレンダー

※新型コロナウイルスなどにより日程が変更する場合がございます。

企画展	市民講座
【春の企画展】 新収蔵品展～令和3・4年度 受入資料～ 4/22(土)～ 6/4(日) 【慰霊の日 写真パネル展】 沖縄戦の中の宜野湾 6/17(土)～ 7/9(日) 【夏の企画展】 シン・紙ってるね！一枚折りの動物たち ～あの動物たちが帰ってきた！！～ 7/22(土)～ 9/24(日) 【小・中学校連携展】 第31回 ぎのわんの文化財図画作品展 9/30(土)～ 10/15(日) 【秋の企画展】 縄文時代の宜野湾 10/25(水)～ 12/24(日) 【文化課企画展】 発掘調査速報展 — R01～R04 — 1/13(土)～ 1/28(日) 【地域との共同企画展】 ぎのわんの字展 ～屋取集落編①～ 2/10(土)～ 3/24(日)	6/18(日) 野外 大山の自然観察 講師：千木良 芳範（元宜野湾市立博物館 館長） 7/23(日) 御願の道具と供えもの 講師：稲福 政斉（冲国大・冲大 非常勤講師） 8/6(日) デモンストレーション① 一枚折りの技 講師：渡辺 慧（折り紙作家） 8/20(日) デモンストレーション② 一枚折りの技 講師：渡辺 慧（折り紙作家） 9/10(日) 宜野湾の海の魅力 講師：佐藤 太一（宜野湾マリン支援センター） 10/1(日) 野外 山田真山の足跡を訪ねて 講師：儀間 智美（宜野湾市立博物館 職員） 10/22(日) 野外 ぶらっと、博物館めぐり(あまわりパーク) 講師：うるま市職員、他 10/29(日) 紅型体験 エコバッグづくり 講師：安里紅型工房 11/12(日) 縄文時代前期の土器の話 講師：横尾 昌樹（うるま市教育委員会文化財課 係長） 11/26(日) 「錫」で豆皿づくり 講師：上原 俊展（金細工まつ） 12/3(日) 縄文時代後期の土器の話 講師：亀島 慎吾（沖縄県教育庁文化財課 主任専門員） 12/17(日) 野外 宜野湾の遺跡めぐり 講師：長濱 健起（宜野湾市立博物館 係長） 1/21(日) 発掘調査から見えてくること 講師：伊藤 圭（宜野湾市教育委員会 文化課担当主査） 1/28(日) 野外 民話の地を訪ねて 講師：平敷 兼哉（宜野湾市立博物館 館長） 3/3(日) 屋取の話 講師：鈴木 悠（那覇市歴史博物館 主任学芸員）



このほか、社会科見学や出前講座、研究室の貸し出しなどを随時受け付けております。
お気軽にご連絡ください！

宜野湾市立博物館

〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-25-1

TEL：870-9317 FAX：870-9316

■入館料：無料

■開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

■休館日：毎週火曜日、祝祭日、年末年始（文化の日、慰霊の日は開館）

